

備前市 事務事業 評価表

事務事業名	自治公民館等整備事業（日生）	コード	03-02-04-06
		担当課・係	日生地域公民館
		担当者	小橋智裕
事業実施期間	平成18年4月1日～平成19年3月31日	電話	72-1006
総合計画 事業（政策）体系	大項目(基本目標)	地域文化と人が輝くまちづくり	
	中項目(基本施策)	生きがいのあるまちづくり	
	小項目(施策)	公民館	

事業について	
目的 (何のために)	日生地域の集会所等（18館）の施設の修繕及び備品購入を行い、当該地区の社会教育活動及び良好な生活環境と心豊かな地域づくりの拠点として、その振興に資することを目的とする。
対象 (誰・何を対象に)	備前市日生地域の各町内会在住の住民
内容	各集会所等の町内会より施設の修繕及び備品購入要望を受け、調査し、必要な改修及び備品購入を行う。

事業の結果			
実施項目	17年度 回数など (単位)	18年度 回数など (単位)	回数など (単位)
修繕等要望	7 件	7 件	
修繕等実績	7 件	7 件	
修繕経費	1,197,943 円	1,562,505 円	
市負担額	478,000 円	625,002 円	
受益者(町内会)負担額	719,943 円	937,503 円	

事業費 (単位：千円)	事業費		財源		事業費		財源	
	直接事業費	478	間接補助金等	0	直接事業費	1,646	間接補助金等	0
	人件費	2,095	受益者負担	0	人件費	1,585	受益者負担	937
	合計	2,573	一般財源等	2,573	合計	3,231	一般財源等	2,294
		0	一般財源等	0		0	一般財源等	0

必要人員	0.25 人	0.20 人	
結果指標名	修繕等実績	修繕等実績	
結果指標量	7	7	
単位	件	件	
対前年比	—	100.00%	0.00%
活動にかかるコスト	2,573,000 円	3,177,505 円	
単位当たりコスト	367,571 円	453,929 円	
結果指標名			
結果指標量			
単位			
対前年比	—		
活動にかかるコスト			
単位当たりコスト			

事業の成果			
どのような成果を得ようとしているか	各集会所等が当該地区の社会教育活動及び良好な生活環境と心豊かな地域づくりの拠点として十分機能すること。		
成果指標名	修繕等実施率	式又は説明	修繕等実施件数/修繕等要望件数
	17年度	18年度	
成果指標量	100%	100%	
対前年比	—	100.00%	0.00%
到達目標値	100%	到達目標年度	毎年度

事業の目的、対象、内容を考えながら目的の妥当性の評価を行って下さい。

事業費や単位当たりコストに留意しながら効率性の評価を行って下さい。

事業の目的やその数値目標である成果指標に留意しながら有効性の評価を行って下さい。

事務事業の評価		(平成18年度事業)
目的・対象・内容の妥当性評価	目的の妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 関係法令等で目的が定められており妥当である <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化しつつある <input checked="" type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的は妥当である (関係法令等： 備前市公有財産規則第24条)
	対象の妥当性	<input type="checkbox"/> 受益者の拡大を検討する余地がある <input type="checkbox"/> 受益者の縮小を検討する余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 現在の対象者は妥当である
	市民ニーズの妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 市民、団体などから要望・要請のある事業である <input type="checkbox"/> 市民に概ね好評な事業である <input type="checkbox"/> 公共秩序の維持、行政の適正運営に必要な事業である
効率性の評価	市の関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 国・県又は関係法令で定められている事業である <input type="checkbox"/> 民間に類似サービスがある <input checked="" type="checkbox"/> 本市が関与すべき事業である <input checked="" type="checkbox"/> 事業を取り止めた場合の影響は大である
	コストの効率化	<input type="checkbox"/> 単位当たりコストは増加傾向にある <input type="checkbox"/> コスト削減の努力をしている <input type="checkbox"/> できる限り民間活力を利用している <input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担額は適正である
	手段の最適化	<input type="checkbox"/> 最適な手段を求めて職場内で確認・見直しを行っている <input checked="" type="checkbox"/> 他に有効な代替手段が見当たらない <input type="checkbox"/> 事業は他部署と密接な連絡調整を行っている
有効性の評価	職場の効率化	<input type="checkbox"/> 事業に関して事務改善等作業効率の向上に努めている <input type="checkbox"/> 事業に関するOJT（職場研修）は行われている <input type="checkbox"/> 事業の進行管理を定期的に行っている <input type="checkbox"/> 事業実施について職員の意見・要望が反映されやすい
	目的達成度	<input checked="" type="checkbox"/> 成果指標の目標値は目標年度に達成できそうである <input type="checkbox"/> 成果指標は前年度より向上している
	成果向上の可能性	<input type="checkbox"/> 成果は向上しており今後も向上する見込みである <input type="checkbox"/> 今後、成果指標は向上する余地がある
市民参画度	<input checked="" type="checkbox"/> 事業について積極的に情報提供している <input type="checkbox"/> 事業実施等で積極的に市民意見を反映している <input type="checkbox"/> 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している <input type="checkbox"/> 事業のプラン作りから市民参加を得る手段をとっている	
妥当性評価<A-E>		C
課題認識		
効率性評価<A-E>		C
課題認識		
有効性評価<A-E>		C
課題認識		
市民参画度		これらの施設は、町内会住民にとって集会所や文化行事に頻繁に利用している、なくてはならない施設であるため、その一部がこれ使用できなくなることは地域活動に支障を来すことになるので、交付要綱の要件を満たすものであれば予算の範囲で要望に応えている。

平成19年度状況	<input type="checkbox"/> 重点化している <input checked="" type="checkbox"/> 前年度と同様に継続している <input type="checkbox"/> 見直し継続している <input type="checkbox"/> 事業を縮小している	<input type="checkbox"/> 休止している <input type="checkbox"/> 他の事業と統合している <input checked="" type="checkbox"/> 平成18年度で廃止・完了	説明	前年度に要望を聴取したが、要望件数が0件のため、現在のところ事業は行っていない。
目標値	結果指標量	0	結果指標量	

総合評価	日生地域の社会教育活動及び良好な生活環境と心豊かな地域づくりの拠点として、その振興に資することを目的とする集会所・コミュニティ施設の整備であるため、必要な事業である。施設の老朽化等に伴う修繕・備品購入のため、施設を日常的に維持管理している町内会からの要望を調査し適切な処置を行った。	評価区分 <A-E>	C
------	---	---------------	---

平成20年度以降の方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する(行政資源を集中的に投入する) <input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続する <input type="checkbox"/> 見直しのうえで継続する	<input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する <input type="checkbox"/> 休止・廃止を検討する <input type="checkbox"/> 他の事業と統合を検討する	<input type="checkbox"/> 平成19年度で廃止・完了
--------------	---	---	---------------------------------------

平成20年度以降の改善事項			
評価の視点	改善内容	改善時期	改善により期待される効果
効率性	各施設の修繕要望を把握し、今まで以上に緊急度、必要性、方法を精査し事業を行う。	平成20年度	真に必要な修繕を優先的に行うことができ、被害の拡大を防ぎ、施設の機能が少しでも長く維持できるようになる。